

広報 ふじえだ

2010
1/5
No.1046

藤枝宿と岡部宿 二つの宿場があったまち	2～7
情報ファイル	8～9
街角は博物館	10
北村市長・新年のごあいさつ	11
ペンリス市って、こんなところ	12



歴史とともに生きる

江戸時代、駿府城の西の守りとして重要な役割を担っていた田中城。田中城本丸跡にある西益津小学校では、地域の誇りである田中城について、学んでいます。学校前庭の百寿園には、田中城のジオラマがあります。学校の周辺には、史跡田中城下屋敷や二の堀もあります。（学校の許可を得て、百寿園内で撮影しています。）

百寿園と史跡田中城下屋敷、二の堀のカラーシュ



▲薦の細道入口①



▲ひげ題目碑②

「南無妙法蓮華經」の文字が、ひげのように見える日蓮宗独特の書体で刻まれています。天保6年（1835）再建の石碑。峠を越える人馬の安全や天下泰平を祈願したもの。

途絶えかけた古道

薦の細道は、宇津ノ谷峠越えの道の中でもっとも古い道といわれています。平安時代から室町時代にかけての主要道です。伊勢物語に『駿河なる宇津の山辺のうつつにも夢にも人にあはぬなりけり』と詠まれ、全国的に知られるようになります。

戦国時代、薦の細道の西側に、新しい道が整備されると、そちらが主要道となりました。江戸時代には、薦の細道は人の往来がほとんど途絶えてしまったといわれています。

現在、薦の細道周辺はハイキングコースとして整備されています。周囲には、国登録有形文化財の明治宇津ノ谷隧道や木和田川砂防堰堤・流路工、つたの細道公園などがあり、自然を楽しみながら歴史ある古道を歩くことができます。



▲猫石③

江戸時代の旅行記「東海道名所図会」や浮世絵、歌舞伎などに登場する猫石。薦の細道を岡部側からしばらく登ったところに現存しています。



▲岡部十団子

十団子は、古くから宇津ノ谷峠の名物として有名で、「東道中膝栗毛」にも登場します。厄除け・家内安全のお守り。坂下地藏堂の縁日にも供えられます。



▲羅経記碑④

文政13年（1830）、駿府代官・羽倉簡堂は、有名な薦の細道の荒廃を嘆き、その由来を記した石碑を建立。羅経とは、薦の道の意味。元字は、幕末の書の名、市河米菴によるものです。もとは、旧東海道沿いにありました。



▲明治宇津ノ谷隧道⑤



▲木和田川砂防堰堤⑥



新しい藤枝市が誕生して1年。藤枝市には、藤枝宿と岡部宿、二つの宿場がありました。東海道は江戸時代から、参勤交代の大名行列や伊勢参りをする旅人などが往来する東西交通の幹線でした。宇津ノ谷峠や大井川といった旅の難所がありながらも藤枝宿と岡部宿は、たくさんの旅人でにぎわいました。宿場を中心として栄えた歴史をたどります。

藤枝宿と岡部宿 二つの宿場があったまち

江戸時代の旅の難所

岡部宿への東の入口、宇津ノ谷峠。東海道五十三次を題材とした江戸時代の浮世絵は数多くありますが、岡部宿の浮世絵には、宇津ノ谷峠が多く描かれています。岡部宿といえば、宇津ノ谷の峠越えを連想したのかもしれませんが。宇津ノ谷峠には、猫石にまつわる言い伝えがあり、岡部宿を描いた浮世絵の中には、化け猫が描かれているものもあります。宇津ノ谷峠は、山賊や鬼、妖怪などが出る恐ろしいところというイメージがあったようです。うつそうとした木々が生い茂り、薄暗い道を通る峠越えは、当時の旅人にとっては、体力的にも、心理的にも難所だった。

峠越えの道が国史跡に

宇津ノ谷峠といえば薦の細道が有名ですが、薦の細道は戦国時代までの峠越えの道。豊臣秀吉が天正18年（1590）、小田原の北条氏政・氏直親子を攻めるときに、薦の細道では大量の人馬の通行が難しいうえ、新たに道を整備しました。その後、江戸時代には東海道として使用されました。この秀吉が築いた道が、国の史跡に指定される予定です。

たのでしよう。



▲秀吉が築き、東海道の一部となった宇津ノ谷峠越えの道

しだ細工

しだ細工は、江戸時代末期の嘉永年間に、内谷村の杉山清十郎が始めたといわれています。しだの茎を細工して、短冊掛けや色紙掛け、衣紋掛け、灰吹き盆(たばこ盆)などを作ったところ、評判がよく、江戸でも人気があったそうです。明治時代には、細工の仕方も一層工夫され、花かごや盆、菓子箱などが、海外に輸出されるほどの名産品として盛んに作られました。

灰吹き盆▶



▶松平主税頭(後の徳川吉宗)の名前が書かれた関札。漆塗りの木箱も残る。



▲川原町に残る常夜灯。



▲岡部宿から丸子宿・藤枝宿までの運搬料を知らせる高札。



▲旅人たちの食事が作られた柏屋の台所。当時のまま再現されている。



▲今も残る松並木。地元では、岡部松原と呼ばれて親しまれている。



▲葛飾北斎画 岡部宿



▲溪斎英泉画 岡部宿



▲歌川広重画 東海道五十三次之内 岡部 宇津之山



▲歌川重宣画 東海道五十三次 岡部



▲歌川広重画 東海道五十三次之内 岡部

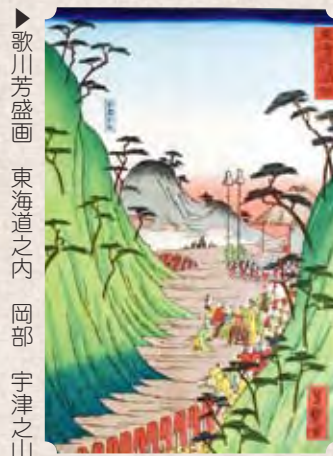
宇津ノ谷峠を越えて、ひと息



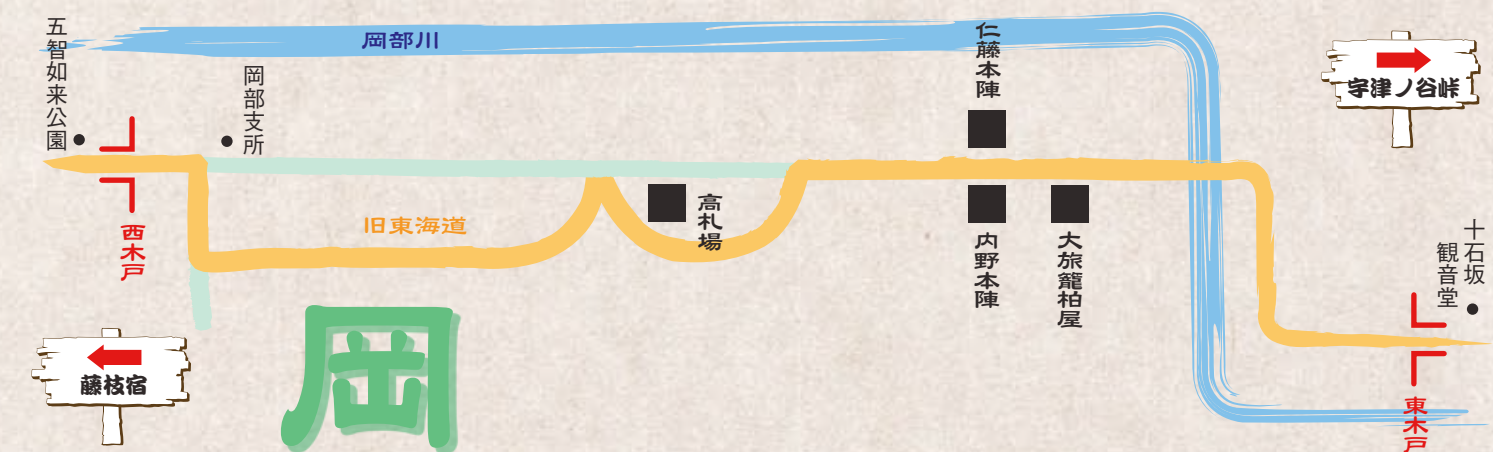
▲江戸時代の宿場町の面影が色濃く残る大旅籠柏屋。



▲井戸や稲荷などが残る内野本陣跡。



▶歌川芳盛画 東海道之内 岡部 宇津之山



江戸時代、東海道の整備とともに、街道には松が植えられました。松並木は、日差しや風よけ、旅人の休息の場として重宝されました。また、旅の道しるべとして、江戸の日本橋を起点に、一里(約4キロメートル)ごとに一里塚も造られました。

旅人たちの休息の場

宿場には、幕府や藩が禁じた事柄や決まりごと、罪人の罪状や人相を人々に知らせるため、高札場がつくられました。集まった人たちによく見えるように、木の板に書いて、高く掲示。当時、すべての人たちが字を読めたわけではないので、年に2回は宿場の人たちを集めて、読み聞かせていました。

掟を知らせる高札場

本陣は、大名や幕府の役人などが宿泊・休憩するための施設。岡部宿にあった2軒の本陣のうち、内野本陣は敷地がほぼ当時のまま残っています。跡地には、井戸や稲荷などがあります。今後、内野本陣跡は、整備を進めていく予定です。

もう一軒の仁藤本陣に泊まった若かりし日の、徳川吉宗(8代将軍)の名前を書いて本陣前に掲げた関札も残されています。

現在の岡部地区には、大旅籠柏屋や、内野本陣跡のほか、宿場町の名残をとどめた家並みが残り、江戸時代の面影を今に伝えています。岡部宿の代表的な旅籠である柏屋は、その規模から大旅籠に分類されます。大火で2度焼失していますが、その都度再建され、現存する建物は、天保7年(1836)に建てられたもの。2階建てで、中2階もあります。1階にあるもつとも上客の間には、床間、違棚、付書院なども備えられていました。

江戸時代の面影残る

岡部宿が宿場に指定されたのは、慶長7年(1602)。近隣の藤枝宿や島田宿の設置から遅れること1年。参勤交代の制度が整い、通行人が増えると、隣接する内谷村も宿場に加えられました。岡部宿には、人足や馬を提供して荷物の継ぎ送りをを行う問屋場、大名などが泊まる本陣、旅人が泊まる旅籠、生活に必要な品々を扱う商家などが軒を連ねていました。天保14年(1843)の岡部宿の人口は、2322人、家数は487軒。27軒の旅籠と、2軒の本陣、2軒の脇本陣がありました。

一年遅れの宿場設置

岡部宿が宿場に指定されたのは、慶長7年(1602)。近隣の藤枝宿や島田宿の設置から遅れること1年。参勤交代の制度が整い、通行人が増えると、隣接する内谷村も宿場に加えられました。



▲昭和30年代の田中城跡と市街地。江戸時代の様子をうかがい知ることができる。



▲浮世絵や旅行記にも登場する烏帽子山。



▲歌川国貞画 東海道五十三次之内 藤枝之図



▲歌川広重画 東海道五十三次之内 藤枝



常夜灯は道しるべ

常夜灯は、照明や道しるべとしての機能を持ち、住民が毎晩当番で火をともしていました。また、防火の神である秋葉山信仰を起源とする、秋葉燈籠と呼ばれる常夜灯も造られました。市内には、現在も木造りや石造りなど、姿、形、大きさなど、さまざまな常夜灯が残っています。



▲歌川広重画 東海道五十三次 藤枝



歌川芳虎画 東海道藤枝▶



▲葛飾北斎画 藤枝瀬戸染飯風景



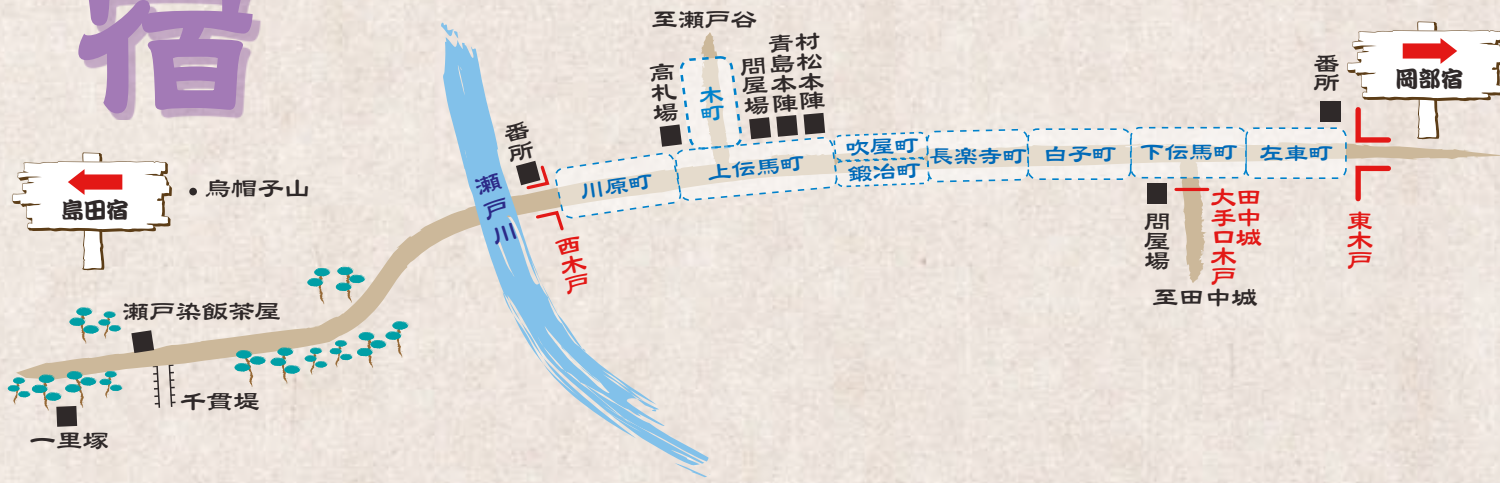
▲瀬戸の一里塚跡付近の松並木

藤枝宿

たくさんの
人と馬が
行き交った



▲歌川広重画 藤枝 瀬戸川徒歩渡り



宿場は9つの町から

慶長6年（1601）に宿駅に指定された藤枝宿の特徴は、街道筋に並ぶ9つの町で宿場を形成していたことです。東側から左車町、下伝馬町、白子町、長楽寺町、吹屋町、鍛冶町、上伝馬町、木町、川原町の9つの町が並んでいました。

天保14年（1843）の藤枝宿の人口は、4425人、家数では1061軒。藤枝宿には、41軒の旅籠と2軒の本陣がありました。

人と荷物が行き交う

宿場の重要な役割の一つが伝馬を行うこと。宿場には、馬と人足を常に備えることが求められ、隣の宿場まで荷物の引き継ぎを行うための問屋場が設けられました。戦国時代に小川孫三が徳川家康の危機を救ったことから、後に孫三が移り住んだ白子町は、この伝馬役などが免除されました。

歌川広重の東海道五十三次の浮世絵にも描かれている藤枝宿の問屋場は、2つ。上伝馬の問屋場では京都から江戸へ向かう下りの荷物を、下伝馬の問屋場では江戸から京都に向かう上りの荷物を分担して扱っていました。毎日たくさんの人と馬、荷物が行き交い、大

城下町としての顔も

藤枝は、田中城の城下町でもありました。そのため、宿場の東西の入口の他にも田中城へ続く道には、木戸と番所が置かれていました。東側の木戸は成田山新護寺の付近に、西側の木戸は瀬戸川の東にありました。藤枝宿には、刀鍛冶・柄巻屋など武士を相手にした店なども軒を連ねていて、城下町の風情も漂っていました。鍛冶町の刀鍛冶は、代々、源重信と名乗っていました。幕末のころまで刀を鍛えていた技術は、明治時代以降、藤枝刃物と呼ばれ、主に水産加工の包丁づくりに活かされました。

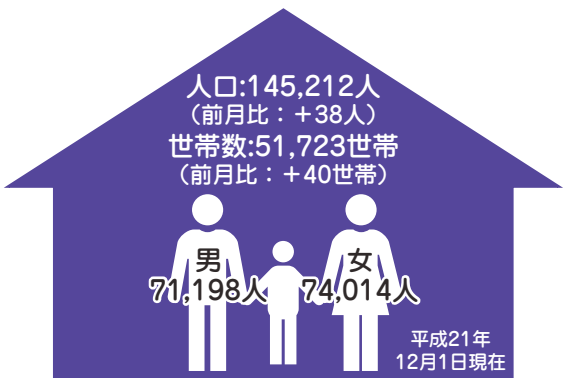
徒歩で渡った瀬戸川

江戸時代、瀬戸川は橋を架けることが禁じられていました。旅人たちは、水量が少なければ自分で歩いて川越し（徒歩渡り）をしました。水かさが増す時期には、川越人足の肩のにつて川を渡りました。藤枝宿と島田宿の間の瀬戸には、染飯を売る茶屋がありました。瀬戸の染飯は、クチナシの実で黄色に染めた、小判形や烏帽子山に似せた三角形の食べ物。保存がきき、足腰の疲れがとれると、旅の名物として有名でした。

新春チャリティーコンサート

とき／1月24日(日)午後3時開演（午後2時30分開場）、午後5時終演予定
ところ／市民会館
内容／浜松ウインドオーケストラを迎え、市内の中学校・高校の吹奏楽部によるクラシックコンサート
入場料／無料 ※全席自由
問合せ市民会館 ☎643・3931





Information File

Information File

情報iファイル

藤枝市役所

☎426-8722 藤枝市岡出山一丁目11番1号

☎643・3111 ☎643・3604

✉info@city.fujieda.shizuoka.jp

※ホームページアドレスの「http://」は省略しています。



ルズ藤枝（鈴木苑）へ

☎639・1212

親子遊び 0歳

▼対象／平成21年4月～9月生まれの子とその親 ▼とき／3月10日(水)午前10時～11時 ▼ところ／青島北公民館 ▼定員／30組（申込順） ▼申し込み／2月1日(月)午前9時から電話で子育て支援センターくるるん（前島保育園内）へ

ひろの病講座

☎636・7780

▼とき・内容／1月18日(月)…うつ病について・25日(月)…ひきこもりについて、2月1日(月)…精神疾患をもつ人との付き合い方について いずれも午後7時～9時 ▼ところ／焼津市総合福祉会館 ▼受講料／無料 ▼定員／100人（申込順） ▼申し込み／電話で(堀)高風会宛へ ☎620・9202

青島南公民館「南風展」

▼とき／1月30日(土)午後1時～5時、31日(日)午前9時～午後3時 ▼ところ／青島南公民館

催し

お知らせ

瀬戸谷温泉ゆらく
臨時休館

瀬戸谷温泉ゆらくでは、年に一度、臨時休館し、館内設備の点検・修繕を行っています。ご利用いただいているみなさんには、ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

▼臨時休館期間／1月18日(月)～20日(水)

☎瀬戸谷温泉ゆらく ☎639・1126

募集

看護師などの
再就業準備講習会

▼対象／看護職の免許を持っている、現在、就業していない人 ▼とき／2月3日(水)～5日(金) いずれも午前9時～午後4時 ▼ところ／県看護協会会館（静岡市駿河区） ▼内容／看護の魅力、最近の看護の動向や基礎技術（講義と実技） ▼定員／20人（申込順） ▼受講料／無料 ▼申し込み／1月26日(火)までに、電話またはファクス、Eメールへ

メールで県ナースセンターへ

☎202・1761

✉202・1762

✉shizuoka@nurse-center.net

市民冬季水泳大会

▼対象／市内に住んでいるか、通勤している人、または市内のスイミングクラブに通っている人 ▼とき／2月7日(日)午前8時30分開場 ▼ところ／大洲温水プール ▼部門／幼児、小学生、中・高生、一般の各部 ▼参加料／1種目400円（リレーは500円） ▼申し込み／1月22日(金)午後5時までに、大洲温水プールに備え付けの申込書に必要事項を記入し、参加料を添えて、直接、大洲温水プールへ

※詳しくはお問い合わせください。

☎大洲温水プール ☎636・8899

家族介護教室

▼とき／2月10日(水)午後1時30分～3時30分 ▼ところ／稲葉公民館 ▼内容／避難所生活！私にできること、災害時高齢者生活支援講習会 ▼定員／20人（申込順） ▼受講料／無料 ▼申し込み／電話で市地域包括支援センター・グリーンヒルへ

演劇 ロビンソンとクルーソー

▼とき／1月16日(土)・17日(日)・23日(土)・24日(日)・30日(土)・31日(日) いずれも午後3時開演 ▼ところ／静岡芸術劇場（グランシッブ内） ▼料金／4千円（ペアチケット…7千円、大学生・専門学生…2千円、高校生以下…千円）

☎(財)静岡県舞台芸術センター ☎202・3399

大旅籠柏屋「新春遊楽会」

▼とき／1月17日(日) 午前の部…午前10時～、午後の部…午後1時～ ▼ところ／大旅籠柏屋中庭 ▼内容／七福神岡部会デビュー、大道芸、和太鼓演奏など ▼入場料／無料 ※申込不要

※先着100人に甘酒サービスがあります。

☎大旅籠柏屋 ☎667・0018

郷土博物館・文学館の催し

☎郷土博物館・文学館 ☎645・1100

唱歌でつづる藤枝の歳時記～正月編～

とき／1月17日(日)午後2時～3時
ところ／文学館・講座学習室
定員／60人（先着順） **参加料**／無料
 ※申込不要

旧東海道沿いの巨樹・古木めぐりウォーキング

とき／2月7日(日)午前9時30分～午後3時
 ※雨天中止
集合場所／蓮華寺池公園第2駐車場（西高跡地体育館前）
コース／白髭神社→須賀神社→若一王子神社→鬼岩寺→大慶寺→正定寺(約10キロメートル)
定員／30人（申込順）
参加料／500円（別途路線バス料金260円）
持ち物／昼食、飲み物、防寒具など
申し込み／1月15日(金)から、電話で郷土博物館へ

平成21年分 住宅借入金等特別控除説明会

☎藤枝税務署 ☎641・0683

対象／平成21年中に住宅を新築、購入または（特定）増改築を行い、入居した人で、返済期間が10年以上の住宅ローンを利用しているサラリーマン

とき／1月27日(水)～29日(金)

午前の部：午前10時～正午、午後の部：午後2時～4時

※説明を聞きながら、ご自身で申告書などを作成していただきます。必ず開始時間までにお越しください。

ところ／焼津市文化センター 小ホール ※申込不要

持ち物／平成21年分給与所得の源泉徴収票、住民票の写し、法務局発行の家屋の登記事項証明書、工事請負契約書または家屋の売買契約書の写し（住宅とともに敷地も取得した場合は、法務局発行の土地の登記事項証明書。売買契約書も必要な場合があります）、住宅取得資金に係る借入金の年末残高等証明書、印鑑、筆記用具、電卓、金融機関の預金口座番号（申告者名義）の分かるもの

※増改築の場合は、建築確認済証や検査済証の写し、または増改築等工事証明書が必要です。詳しくは、お問い合わせください。

勤労者のためのパソコン講座

☎商業観光課 内線465 ✉sho-kan@city.fujieda.shizuoka.jp

講座No	講座名	講習内容	対象	とき	受講料
1	実用エクセル	エクセルの基本操作。表やグラフ作成の基礎。関数やデータベース機能の管理。	パソコンの基本操作のできる人	2月4日(水)・8日(月)・18日(水)・22日(月)・25日(木)、3月1日(月)・4日(木)・8日(月) 午後6時30分～9時（初回は8時まで）	4,800円（全8回）
2	演習エクセル	エクセルの実践力アップ。	エクセルの基礎知識があり、操作のできる人	3月11日(木)・18日(木)・25日(木) 午後7時～9時	1,600円（全3回）
3	再就職のためのパソコン講座	ワードの基本操作やイラストの挿入、表作成、エクセルの基本操作。就業支援のための応募書類の作成。	再就職を希望する、パソコンの基本操作のできる中高年の人	2月5日(金)・9日(火)・16日(火)・19日(金)・23日(火)・26日(金)、3月2日(火)・5日(金) 午後5時～8時	6,200円（全8回）
4	シニアパソコンアドバイザー養成講座	初心者にはパソコン操作を指導するアドバイザーとしての基本技術。レッスンプラン、教材作成などの基本知識。	おおむね60歳以上で、普段パソコンを活用している人	3月9日(火)・12日(金)・16日(火)・19日(金)・23日(火)・26日(金) 午後5時～8時	4,800円（全6回）

ところ／(株)システムイン吉野（田沼2-20-22） 定員／各講座15人（抽選）

申し込み／1月20日(火)までに、往復ハガキまたはEメールに希望する講座No・住所・氏名・年齢・性別・電話番号・勤務先・具体的なパソコン経験を記入し、〒426-8722市内岡出山1-11-1商業観光課へ

※講座No1・2は、求職者・在職者でパソコン技術の習得が必要な人のための講座です。

9 広報ふじえだ 平成22年1月5日号

8

平成22年 新春

あけまして
おめでとうございます



「元気なまち藤枝づくり」第2章

平成22年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

早いもので、合併して新しい藤枝市が誕生し、一年が経過いたしました。この間、一体感の醸成のために、さまざまな取り組みを行ってきました。私自身も、機会を見つけ、岡部地区での催しに、自ら足を運び、みなさんとひざを交えて、お話してきました。その中で、あらためて、岡部地区が持っている個性や特色を肌で感じることができました。

こうした各地区が持っている個性や特色は、まさに本市の財産であり、大きな活力の源です。現在、平成23年度から10年間の本市の進む方向を明示した、新しい総合計画づくりを進めています。この計画には、市内各地区の個性や特色を活かし、市民のみなさんはもちろん、市外のみなさんにも、全国に誇れる元気なまち藤枝を実感していただけるような内容を盛り込むつもりです。今後の藤枝市に、大いに注目していただきたいと思っております。

さて、私は、市長就任以来、「元気なまち藤枝」の実現に向け、「子どもたちが輝くまち」「誰もが安心して暮らせるまち」「皆で協力し合うまち」「誇りと元気のあるまち」という4つの基本方針のもと、市政経営に取り組んでまいりました。その成果は着実にあがってきていると思います。本年は、さらに「活力と独自性のある藤枝の実現」「大交流時代にふさわしい藤枝の実現」に向け、市民のみなさんが「やさしさ」と「明るさ」を実感できる施策を展開してまいります。厳しい財政状況の中ではありますが、本市ならではの藤枝型NPM（新公共経営）のもと、本市に必要なものをしっかり選択し、私自身、本年も、持てる力を傾注し、精一杯、汗を流してまいります。市民のみなさんのご理解とご協力をよろしく願います。

藤枝市長 北村正平



【蔵元の杉玉】 (各蔵元)
杉玉とは、スギの葉を集めて、ボール状にした造形物。別名、酒林とも。

新酒の誕生を知らせる

街角は 博物館

藤枝温故知新

歴史と文化と自然が豊かなまち・藤枝には、多くの財産があります。街中をゆっくり歩いてみると、気づくはず。普段、何気なく見ている景色に、さまざまな歴史が息づいていることに…。そんな1コマを切り取ってみると、街角が博物館になります。

それを知らせる真新しい杉玉がつるされます。
故きを温ねて新しきを知る。藤枝のまちを歩いてみませんか。



【元・西北駐在所】 (西方)
昭和40年代までは、駐在さんが暮らしていたという昭和10年代の建物。

葉梨西北の安心の砦跡



【駿岡社旧工場】 (岡部町内谷)
平成13年3月までの80年以上、岡部唯一の製茶再製工場として活躍。

岡部茶のために駆ける



【岡野醤油店】 (高洲)
「ヤマゲン」の屋号で、今も醤油を出荷する市内で唯一のお醤油屋さん。

醤油の味と香りを紡ぐ



【トンガリ屋根の家】 (藤枝五)
3階の屋根は、神戸にある異人館のように、うろこ形の鉄板製。

茶の輸出草創期を知る



【須賀神社のクス】 (水守)
県指定天然記念物。根廻15.2m、樹高23.7m。県下有数の大木。

見守り続けて500年



【米半さん】 (藤枝二)
かつての藤枝宿のたたずまいを残す格子戸は、風情たっぷり。

歴史と伝統を受け継ぐ

高洲南小学校近く、旧田沼街道脇のしっかりした伊豆石の壁は、百年以上前に築かれた醤油製造工場のもの。岡野醤油店では、今も火入れは、店で行っています。
焼津信用金庫・藤枝上支店横の通称・木町通り沿いの歴史を感じさせる格子戸のある家。地域の人たちは、親しみを込めて「米半さん」と呼びます。古くから、味噌や麴を扱う大塚家の建物です。
岡部地区のお茶を製品化してきた駿岡社の旧工場は、岡部の旧東海道沿いにあります。昭和15年ころに建てられたその外観は、洋風です。
水守の旧道沿いにある須賀神社。そこには樹齢500年というクスの大木があります。その神々しく雄大な姿は、藤枝の歴史の生き証人です。
西北駐在所だった建物は、J A大井川・葉梨支店近くの道路沿いに、ひっそりと立っています。近所の人々の話では、道路の向かい側にあった昭和10年代に建築された消防団の詰所を移築したものだそうです。
蓮華寺池公園近くのトンガリ屋根の3階建ての洋風建築。明治時代に藤枝茶が清水港から各地に輸出されていた当時、重要な役割を果たしていた藤枝製茶貿易会社の建物です。
暮れから新年にかけて、新しい年を寿ぐように新酒が出荷されます。市内にある4つの蔵元の軒先には、

これから、ますます盛んな交流に向けて

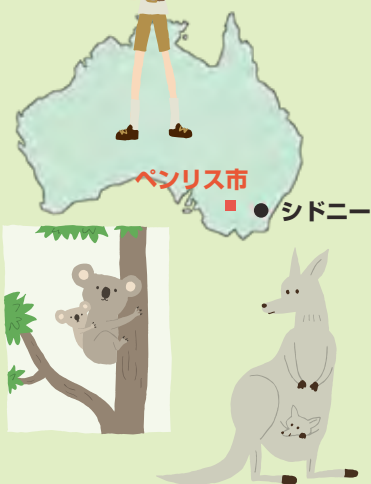
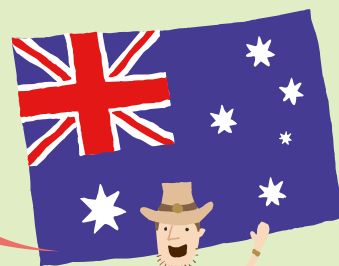
ペンリス市って、こんなところ

企画政策課 内線314

【ペンリス市の概要】

オーストラリア・ニューサウスウェールズ州の都市。シドニーから西へ約55キロメートルに位置する（成田空港からシドニー空港まで飛行機で9時間30分）。人口は約17万2千人。面積約407平方キロメートル（藤枝市の約2.8倍）。

日本との時差は約1時間。市全域が平野で、冬季でも3℃～17℃と暖かく、1年を通じて降水量は少ない。農業が盛んで、酪農、トウモロコシ、果樹、牧草などの飼料作物が栽培されている。市西部を南北に流れるネピアン川は、市民の憩いの場となっている。このネピアン川は、2000年9月に開催されたシドニーオリンピックの漕艇会場。



▲近代的なペンリス市役所の庁舎



▲ジャカランタの木がいたるところに



▲観光客に人気のネピアン川の遊覧船



▲ネピアン川はオリンピックの漕艇会場に



▲近郊には世界遺産のブルーマウンテンズも

友好都市提携が 25周年を迎えました

ペンリス市と友好都市提携を結んでから、昨年で25周年。締結は、1984年（昭和59年）11月3日、藤枝市制30周年記念式典で行われました。

これまで、高校生の相互交流や、スポーツ交流（サッカー、ソフトボールなど）など、主に文化交流が盛んに行われてきました。

友好都市提携25周年は、ペンリス市の市制50周年と重なり、ペンリス市では、記念式典が行われました。その式典には、北村市長をはじめ、内藤議長や市国際友好協会のメンバーも参加。式典では、訪問団による日本の伝統芸能の披露や、市内で活躍するみなさんの活動紹介などが行われました。



▲ペンリス市長と今後の友好を確認



▲提携25周年を祝い、記念の植樹



▲藤枝市内のダンスグループによる発表



◀和服を体験するペンリスの子